

平成 18 年度 インド国カウンターパート研修「下水道経営」

実施要領(案)

1 . コース名、期間、定員

(1) コース名

和文：インド国カウンターパート研修（下水道経営）

英文 Counter Part Training Course on Management of Sewage Works

(2) 研修期間

平成 18 年 6 月 7 日（水）；来日～平成 18 年 7 月 8 日；離日
技術研修期間

平成 18 年 6 月 9 日（金） ～ 平成 18 年 7 月 7 日（金）

(3) 対象者

・対象者は、JICA 開発調査に基づき円借款で下水道施設が建設されるバラナシ市下水道部局の幹部職員、その他関連機関幹部職員から選定する。選定対象となる組織は以下のとおり。

- ・ウッター・プラデシュ州上下水道公社
- ・バラナシ市水道公社
- ・バラナシ市役所
- ・環境森林省国家河川保全局

なお、応募状況に応じて JBIC が支援してきたヤムナ・アクション・プランで建設された施設を持つ都市も選定対象に追加する。

(4) 定員：10 名

2 . コースの背景と目的

(1) 背景

インドでは国家河川保全計画（NRCP¹）を軸に多くの下水処理場が建設されてきた。

しかし、建設後の維持管理体制の準備が不十分であったために、維持管理予算の不足、適切な能力を持つ維持管理人員の不足、下水道事業の各種業務を担当する組織の輻輳化、などの問題が生じている。

本コースは、下水道事業の経営当事者に上記課題に関する参考知見を与え、さらに今後

¹ National River Conservation Plan

の事業展開に資する日本の先進事例を紹介し、今後のインドにおける水環境保全、及び下水道事業実施に関して検討・考察を行なうものである。

(2) 目的

インド下水道事業の経営者層に、日本の下水道事業における組織及び制度、事業実施に関する基本的考え方を紹介するとともに、下水道経営に関する知見を広げることにより、経営能力の向上、ならびに都市ひいては州の下水道事業を効果的に運営していくリーダーシップの発揮を促す。

3. 到達目標

- 1) 下水道施設の計画・設計・維持管理に必要な知識(日本の先進事例を含む)を習得する。
- 2) 下水道事業の運営・管理・財政に関する知識を習得する。
- 3) 自ら従事する下水道事業運営における課題を明確にし、対応策を検討・作成する。

4. 期待される効果

研修中に得た知見や議論を基礎に、今回参加者を中心として水環境保全、及び下水道実施手法に関し、現状の課題を明らかとし、今後の方向性に関し考察・検討・指導・助言等を行なうことにより、インドにおける下水道事業に携わる行政官や技術者の人材育成を図るとともに、同国における下水道事業の効果的な実施と運営に貢献していくことが期待される。

5. 研修項目、研修方法

- 1) 下水道施設の計画・設計・維持管理に必要な知識(日本の先進事例を含む)の習得。
 - ・ 流域別下水道総合計画
 - ・ 水処理施設の設計
 - ・ 汚泥の処理、処分
 - ・ 管路施設の維持管理 講義・実習
 - ・ 下水の再利用と滅菌
 - ・ 工場排水と除害施設
 - ・ UASBとDHS
 - ・ 下水道分野における技術開発

【施設見学】

- ・ UASB、ラグーン、高度処理施設 等

2) 水道事業の運営・管理・財政に関する知識の習得。

- ・ 日本の下水道概要
- ・ 下水道計画、水環境管理
- ・ 下水道財政、運営、広報
- ・ 日本における水資源管理
- ・ 湖沼水質管理（琵琶湖・滋賀県）
- ・ 淀川水系水質保全（大阪府）
- ・ 東京都における下水道事業
- ・ 札幌市における下水道事業

3) 自ら従事する下水道事業運営における課題の明確化と対応策の検討。

日本における下水道制度や下水道運営手法等を本研修で習得し、これをインドにおける下水道事情と比較することによって、今後のインドにおける下水道実施、及び運営手法について考察・検討を行なう。

- ・ カントリーレポート
- ・ ディスカッション、個別指導
- ・ 最終報告書作成

6. 研修実施体制及び運営

本研修コースは、独立行政法人国際協力機構(JICA)が国土交通省、日本下水道事業団、(財)下水道業務管理センター、地方公共団体等の協力を得て実施運営するものとする。また、コースのより効果的・円滑な運営のために、(財)下水道業務管理センターが各機関の連絡調整、及び研修指導・運営のとりまとめを行う。